

偶然の出来事

2024.8.27

人生において成功者と呼ばれる人々が、共通にもつ資質や能力とは何だろうか。これは興味深い問いである。この問いに対して、一つの示唆を与えてくれる調査結果がある。それは、成功者が書いた数多くの自叙伝や回想録を集め、その中で最もよく使われている言葉を分析した調査である。その結果は、意外なものだった。

最もよく使われていた言葉は、努力や信念といった言葉ではなかった。最も頻繁に使われていた言葉は、「たまたま」「ちょうどそのとき」「ふとしたことから」といった偶然の出来事によって人生が導かれたことを語る言葉だった。この話を聞くと、多くの人々は、素朴に「成功者は、運が強い」と感じるのではないだろうか。

だが、この調査結果を深く見つめていくと、人生における叡智の世界が見えてくる。なぜなら、優れた仕事を成し遂げ、人生の成功者と呼ばれる人物が共通にもつものは、単なる運の強さではなく、一つの優れた資質であることに気がつくからである。それは、「意味を感じる力」である。多くの成功者たちは、この力をもっている。偶然と見える出来事の中に大切な意味を感じ取る力。そして、その出来事の中に自分を導く声を感じる力である。成功者と呼ばれる人たちは、これらの優れた力をもっているのだろう。

例えば、たまたま、ある人物と出会う。そのとき、この人と出会ったのはなぜか。これは何かの配剤ではないのか。この出会いは、これから自分が歩むべき方向を教えてくれているのではないかと考える姿勢は、しばしば、その偶然をよき機会へと変えていく。

また、人生において計画を立て、何かを為そうとしている、ちょうどそのとき、ある出来事が起こったりする。その出来事に対して、これは何を意味しているのか。この出来事は、自分に大切な何かを教えようとしている声ではないのか。それは、計画を変えよという声なのかと考える姿勢は、小さな出来事をも大きな機会へと結びつけていく。

それだけではない。その姿勢は、ときに失敗や挫折の経験さえも学びや成長の機会に変えていく。人生は、思うようにはいかない。だが、その思うに任せない偶然の出来事の中にこそ、これから歩むべき道についての深いメッセージが潜んでいる。その深いメッセージの存在に気がついたとき、人生の風景は変わっていくように思う。

出会いは、誰にでも平等にあると言われている。その出会いから意味を感じることができるかどうか。感じ取ろうとする姿勢があるかどうか。常に、自分に降りかかってきた出来事の意味を考えようとしているかどうか。このようなことが、重要なのであろう。そう考えると、偶然のように思っていたことが、必然のように感じるようになる。偶然の出来事は、決して偶然ではなく、言わば必然ともいえるものなのである。